

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家たちあらい館		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 18日 ～ 2024年 12月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27 (回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2024年 12月 5日 ～ 2024年 12月 6日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の工夫 おやつレク	日替わりで活動の内容を変え、生活、運動、工作、手作りおやつに絞り、集団活動を行っている。	活動内容は児童にもリクエストを聞いたり、いつも同じ内容にならない様に工夫している。
2	知育向けの玩具 手作り玩具	既製品の玩具ではなく手作り玩具を準備したり、工作やアイロンビーズなど自分で考案した玩具を使って作っている。	個々に応じた玩具を作成し、遊びながら習得できるようにしている。
3	不登校児の受け入れ	個々の目標は異なる為、柔軟な状況に応じて前向きに生活ができるよう自立に向けたゴールを目指している。	学校や相談支援員との連携を深め、本児の不安や悩みが解消できるようにサポートする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の不十分さ	人員不足 スキル不足	法人全体で考える 来年度、計画的に実地できるように立案する
2	環境設備が難しい 個別活動を静かな場所で行う事は難しい。	フラットな空間で仕切りが無い	パーテーションや棚を動かし、落ち着いた空間ができるよう工夫して行く。
3	外部とのつながりが薄い	人員不足 他事業所との関係が不十分ではない。	地域のイベントへの積極的な参加。 地域の方に知ってもらうための情報の開示。